

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

岡山県 津山市

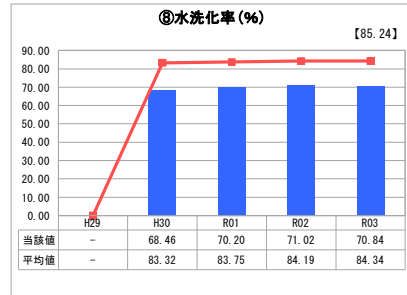
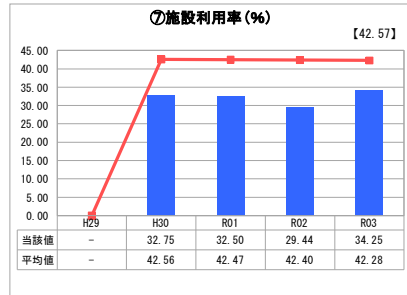
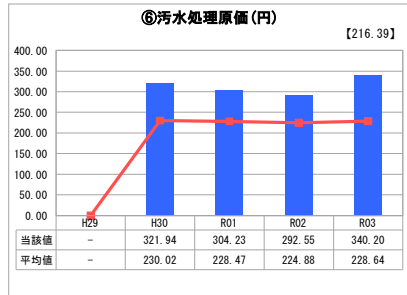
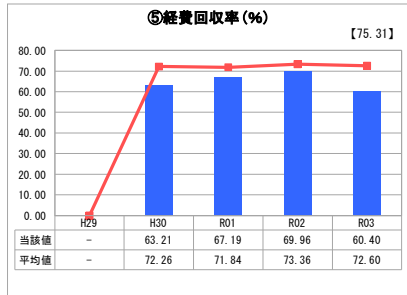
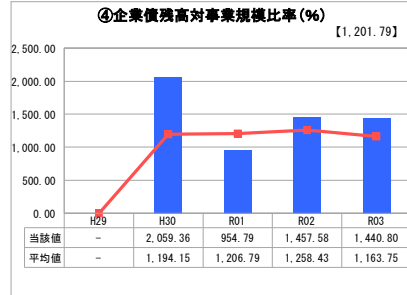
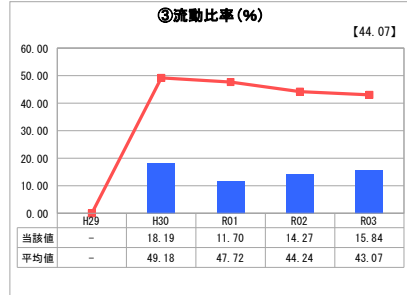
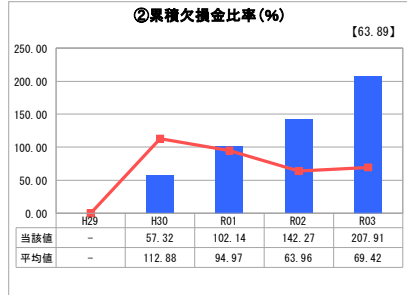
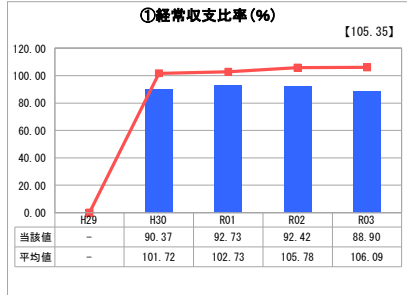
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	59.67	2.22	89.73	3,465

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
98,811	506.33	195.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,181	1.09	2,000.92

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

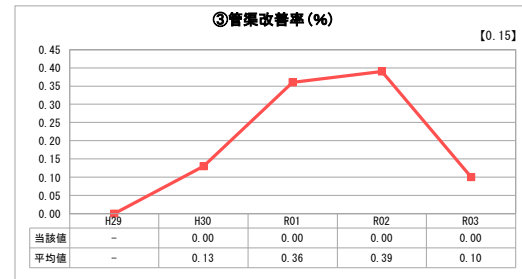
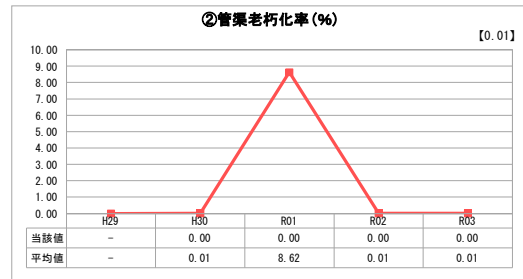
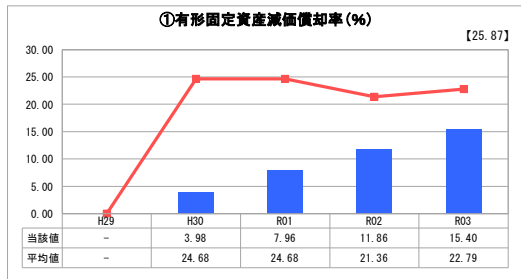
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
設備投資による減価償却費と企業債利息が大きいことから100%を下回っています。
  - ②累積欠損金比率  
①と同様の要因により、毎年同程度の欠損金が発生、累積しています。
  - ③流動比率  
多額の企業債償還金により、基準となる100%を大きく下回っています。
  - ④企業債残高対事業規模比率  
③と同様に、収益に対し多額の企業債残高を有しているため、高い割合となっています。
  - ⑤経費回収率  
維持管理費の増加により、前年度に比べ低い割合となっています。
  - ⑥汚水処理原価  
⑤と同様、経費が増加したため、前年度に比べ高くなっています。
  - ⑦施設利用率  
類似団体平均値を下回るものの、1日あたりの処理量は前年に比べ増加しており、施設利用率は伸びています。
  - ⑧水洗化率  
ほぼ横ばいで推移しています。継続して水洗化を促進します。
- ※平成30年度から公営企業会計に移行したことに伴い、平成29年度以前（法非適）の数値はこの分析表に記載されていません。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
既に稼働している資産の減価償却累計額の増加に伴い、有形固定資産減価償却率も上がっています。
- ②管渠老朽化率、③管渠改善率  
法定耐用年数に達した管渠がないため、老朽化対策は行っていません。しかし、機械設備・電気設備には耐用年数を経過している施設もあり、平成30年12月に作成した「下水道事業ストックマネジメント基本計画」に基づき、長寿命化を含めた対策を行っています。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

平成30年度に公営企業会計に移行したことに伴い、経営戦略を抜本的に見直します。新たな経営戦略では、料金水準の見直しに先立ち、経営基盤の強化に向けた取組による目標を設定し、事業を継続できる財政基盤の強化を図ります。

また、特定環境保全下水道事業は、公共下水道事業に比べ、事業規模が小さいため、人口減少の影響による収入減収が経営に大きく影響します。「下水道事業ストックマネジメント基本計画」や農業集落排水施設の統合など、本市の事業全体構想を含めた効率的な施設更新に取り組みます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。